

【とある部署で作業をする者、そこへ交代にやってくる者。立場の異なる二者の交わす、15分間の立ち話。「先生、真面目な話をしてもいいですか？」——これはまぎれもなく、2019年のお話。】

・当脚本は、2018年8月に福岡市早良区のももちパレスにて開催された福岡学生演劇祭にて上演した同名作品を書き換えたものである。同演劇祭は12尺×12尺の正方形囲み舞台にて開催され、上演は大道具や小道具、照明変化、音響効果を用いずに、マイムを多用し行った。今回書き換えるにあたって、「2018年から2019年へ、「2年後」としていたところを「来年」にする・章の順序の入れ替え・結末の変化」など細かな修正を加えた。

・(2019年1月) ジャカッと雀旗揚げ公演『恋のジャカリズム』での上演にあたり、Aの性別変更など細かな修正を加えた

作業をしているA
そこに現れるB

I.

B 熱心に見ていますね。

A あっ、先生！

B 全体会議以来でしょうか。

A ずいぶんと経ちましたね。

B どうですか。

A え？ ああ、うーん、前に比べるとやはり……

B 大先生のいなくなってしまうた影響が出ていますか。

A そうなのかもしれません。でも、私は大先生に感謝していますよ。

B ほう。

A あれから私はここで見てきて、色んなことに気づけました。新たな視点が持てるようになった気がするんです。

B それはよかったですね。

A ……さつきから何を見てるんですか？

B ああ、僕なりにいろいろ考えて、大先生にあって僕に足りないものは知識だと思って、最近はとにかく読むようにしてるんですよ。

A てことは先生も出馬するんですか。

B はい。こんなチャンス、またと無いですから。

A チャンスかー。

B キミは出ないんですか？

A 私ですか？ いえいえ、私なんてまだまだそんな器じゃないです。

B そうですか。

A あと少しなので、終わらせちゃいますね。

B 切りの良いところで切り上げてくださいね。

II.

A 選挙って、いつになったんでしたっけ？

B 来年です。

A え、本当ですか。

B かなり前倒しになったんですよ。

A もうすぐじゃないですか。すみません、話してる場合じゃなかったですかね。

B いえいえ。いいんですよ。こうして会話するのは久しぶりで新鮮な気持ちです。

A ああ。担当とか交代とかのシステムさえなかったら前みたいに話せるんですけどね。

B しかし会議で決まりましたから。

A 彼らから『逆輸入』したんですもんね？

B そうです。選挙もね。彼らから得るものは多い。

A 最近では彼らの世界も複雑になりすぎてしまっていて、こういう制度ではカバーできない部分も増えているみたいですよ。

B それもあと少しの辛抱です。またすべてを司る新たな大先生が誕生すれば、世界は安定と明るい未来を手にするでしょう。

A その大先生が本当の大先生になれるかは分かりませんがね。

B ……なんだか言い方にトゲがありますね。

A あ、すみません。そんなつもりじゃなかったんですが。

B そうですか。

A 先生はこれまで、ずっと本部で読み物を？

B ええ。そう割り振られましたから。

A そうでした。

B キミはずっとここでしたか。

A はい。私は、ここで、彼らの中でも富を持つ方ばかりを観察してきました。そちらのほうが動きが活発で、見ていて面白かったからです。あ、こんな話をしたら怒られちゃいますかね。

B キミが担当してる時間は、キミが導き方を選べます。会議でも言われていたでしょう。

A 自由の原則ですね！

B はい。

A それで、彼らを見ていて、最初はすごく面白かったです。これが大先生の見ていた景色かっという感動もありましたし。その頃は彼らみんなが一つの方向を見ているというか、成長に夢中でした。ご存知ですか？

B ええ。読みました。

A さすがです。私は、そんな彼らに光を当ててきたんです。そうすることで彼らは活気づき、波を生み出していきます。その波の広がりには、本当に見ていて興奮しましたよ。次々と新しいモノが発見され、作られ、世界はひと繋がりになりました。でも、楽しんでいられたのは最初だけでした。最近の彼らは波を生み出せなくなっちゃったんです。

B ええ、それも知っていますよ。いまは停滞しているようですね。話は終わりますか？

A え？……はい。先生ってなんでも知ってるんですね。

B ……

III.

A 先生、ちょっと真面目な話をしてもいいですか？

B ……ええ。どうぞ。

A 彼らは、もうダメかもしれません。

B というところ。

A 先生は、「お天道様が見ている」っていう表現をご存知ですか？

B いえ……、どういう意味でしょうか。

A 「お天道様が見ている」っていうのは、この星の小さな島国で彼らが使う言葉、あ、いや、正確には使われていた言葉なんですけど、誰も見ていなくてもお天道様にだけは必ず見られていて、いつか絶対に罰が当たるから、悪いことはしてはいけませんよっていう、教養、なんです。

B それは……

A そうなんです。なんていうかあいまいで、しつかりとした規律ではない。でも、この言葉を初めて聞いた時、私は、すごくドキッとしたんです。私は彼らをほんとにずっと見てるんで、これがバレてるのかなって。

B まさか。そんなわけないでしょう。

A ははは。そうですね。バレてるわけじゃないです。それに、お天道様っていうのは大先生のことだと思います。

B キミではなく。

A ええ。その証拠に、大先生が居なくなった頃からこのフレーズが使われなくなってきたんです。きつと何かに気づいたんでしょうね。彼らは代わりに、自分のことをもっと周りに見てほしいって思うようになったんです。努力も才能も幸も不幸も、ひいては悪事すらもを必死に隠示して、周囲の視線を集めることに夢中なんです。これは大先生が想定した方向から離れた方向へと進んでしまっている。

B キミが決めつけるのはどうかと思いますかね。

A ですが、今までのような方法では彼らに作用できなくなってるんですよ。試しにこうやって光を向けてみると（卜、客席の一部を照らす）、ほら、こうやって目をそらす（居心地悪そうにする）んです。こんなものは求めていない、これは自分に向けられるべきではない。だけど、この自分の姿は誰かに見てほしいとも思ってしまう。そんなしがらみの中で、彼らは波を起こせなくなってきたんです。それどころか、他者が生み出す波を妬んで邪魔したりするんです。こうなってくると、私たちは見過ごしちやいないと思いますんか？

B 何が言いたいんですか。用が済んだのならそろそろ……

A 私たちの世界もそっくりですよ。

B ……は？

IV.

A 先生は、あの会議をどう思いましたか？

B どうって……。

A 先生という先生みんな声を張り上げながら自分の立場を主張するだけで、まるで会議と呼べるようなものではなかったですよ。

B すべてを司っていた大先生がいなくなってしまったんです。みんなショックを受けるし混乱もするでしょう？

A 彼らとそっくりじゃないですか？ 大先生がいないと私たちも動けない。それどころか「選挙で次の大先生を決める」とか、「みんなを部署に分けて仕事を割り振る」とかいって、彼らの真似事を始めるんですもん。導くどころか彼らに導かれてしまってます。

B ……。

A 先生。先生は何のために知識を得てるんですか？

B ……。

A その知識は、いつ使うんですか？

B ……結果的には、大先生に選ばれた際にそれを使って彼らを導くために。

A どうやって導くんですか？

B どうって……。

A 知識だけでどうやって彼らを導くんですか。

B どういう意味ですか。

A 彼らのことなんか見てないのに、導けるんですか？

B キミ、それは語弊がありますよ。決めつけしないでください。

A じゃあ先生は大先生になつたらどのように彼らを導く予定なんですか？

そろそろ具体的に教えてくださいよ。

B なんなんですかさつきから。そんな矢継ぎ早に質問されても答えられませんよ。

A もともと考えてないんでしょう。

B ……いま、なんと？

A 本当の話をしましょうよ、先生。先生は別に大先生になりたいわけじゃないんですよ。みんなが目指してるから、自分も絶望してしまつたから、周りに流されてなんとなく目指してるだけじゃないんですか。

B 口を慎みなさい。失礼な。

A 知識を得てるのだから、周りで誰もやっていないから、これでなら自分が特別になれるからって……

B いいかげんにしないか！ もう作業は終わっているでしょう。さつさと出ていきなさい。

A ……先生、もう大先生はいないんですよ。

B そんなことは分かってますよ。当たり前だ。

A だったら、そんなにのんびりしてる場合じゃないですよ？ このままでは彼らは本当にダメになつてしまいます。この1年、死にものぐるいでやってくださいよ。

B ……。

A 先頭に立つてこの現状を変えていく大先生っていうのは、とてつもなく大変だと思っんです。半端な気持ちじゃ務まらないはずですよ。その覚悟はお持ちですか？ 私たちは、彼らのためにいるんですよ。思い出してください。お願いします。

B ……分かりました。考えを改めましょう。

A ……

B 元生徒に諭されてしまいましたね。……しかし、よく気が付きました。素晴らしい指摘だと思います。キミはすごいね。(ト、△に向け拍手をする)

A 全然、です。でも、ありがとうございます。

B こちらこそ。いろいろ教えてくれてありがとうございます。さあ、だいぶ時間も経つてしまいましたね。そろそろ本当に交代にしましょう。

A そうですね。……あ、あの、失礼な発言をたくさんしてしまい、すみませんでした。

B いえいえ。

A 次にお会いできるのを楽しみにしています。失礼します。

A 去る

B 読書に戻る

終